

町内会便り

地域包括支援センター



こんにちは、地域包括支援センターです。地域包括支援センターは、地域で暮らす高齢者の皆さんの総合相談窓口です。

介護・介護予防・健康づくりに関すること。認知症や財産管理に関すること等、様々な相談をお受けし、必要なサービスや制度の紹介、関係機関等へおつなぎしています。また、地域の色々な組織の方と協力して、高齢になっても暮らしやすい地域づくりに取り組んでいます。

今回は地域包括支援センターの活動の一部を紹介いたします。

まずは介護予防の普及啓発です。「できるだけ要介護状態にならない」「悪化しない」を目標に介護予防センターなどの関係機関と連携しながら、介護予防の大切さを伝え、地域での介護予防活動を応援しています。

続いて、認知症の方を見守り、支える地域づくりを支援です。福祉区ごとに配慮している認知症地域支援推進員と協力しながら、「認知症サポーター養成講座」を開催し、認知症に対する理解を深め、認知症の方の見守り、支えあえる地域づくりを進めています。また、認知症の方が早期に医療機関に繋がるように支援しています。

その他に高齢者虐待の早期発見や防止、消費者被害防止等、関連機関と連携して高齢者の権利を守ります。高齢者の中には不安を感じていても自分で相談できない方もおられます。

地域のみなさんの気づきが大切です。気になる方がおられたら早めにご連絡ください。

相談には保健師・看護師・社会福祉士・介護支援専門員の専門職が応じます。知りえた情報・秘密を厳守します。ご自宅への訪問もしておりますので、お気軽にご相談ください。担当 平田分室 大月 直子

(お問い合わせ先) 岡山市北区中央地域包括支援センター 平田分室

住所: 岡山市北区平田 407 (ひらた旭川荘内) **電話:** 086-239-9211

時間: 平日 8:30 ~ 17:15 (土・日・祝・年末年始を除く)

雑記帳



深刻な児童虐待

近年、児童虐待の通告件数は増加の一途をたどっている。厚生労働省によると、2017年度中に全国210カ所の児童相談所が児童虐待相談として対応したのは13万3778件、これまでで最多の件数である。児童虐待をめぐる複雑で深刻な人間関係が増加しているのだ。

千葉県野田市の小学4年生、栗原心愛(みあ)さんの虐待死事件は聞くに堪えない事件だ。自分の子どもを助けなかったどころか、これに加担したのが母親の栗原なぎさ、また、心愛さんを執拗に虐待した父親の勇一郎。問題の父親だが、彼の横暴さに腰がひけた対応したのが学校、教育委員会、児童相談所。公務員として面倒な仕事に深く関わりたくない気持ちが丸見えで残念でならない。「誰にも言えない、困ったことがあるなら正直に悩みを書きなさい。」と真実を書かせたからには、いくら脅されたにしてもこの情報を当事者に見せてはなるまい。



本気で対応するふりをし、子どもを助けるどころか虐待殺人に追いやった責任は極めて重大である。このような対応を繰り返させない為にも、何らかの形で誰かが責任を取らなければ、この子も救われまい。

いずれにしても、核家族化が進み、プライバシーを重んじる社会がもたらす負の側面とも言える。一昔前のようにご近所が家庭内のトラブルに介入するような事もなくなったとすれば、彼女はどのようにすれば助かっていたのだろうか。(ひとり言)